

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

(単位:円)

No.	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	所管課	事業 始期	事業 終期	A 総事業費 （決算額）	B					G 補助対象外経費	成果目標	成果目標の達成状況	事業実施状況	効果検証 事業の成果、効果	
									補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他						
合計									1,260,143,510	1,214,594,100	537,784,529	392,806,500	-	328,745,258	807,223				
1	単	36	新型コロナウイルス感染症予防対策事業	①災害発生時における避難所での新型コロナウイルス感染症予防対策や、イベントをはじめ各種申請や相談時における感染症予防対策を行う。 ②感染予防のための消耗品、備品 ③・予防関係消耗品（除菌ティッシュ他）416千円 ・避難所運営関係消耗品399千円 ・教育関係消耗品154千円 ・抗体検査用キット（15箱）330千円 ・防護服（50セット）231千円 ・web会議用品107千円 ・窓口用バーテーション163千円 ・避難所運営関係備品（ポータブル蓄電池）9台4,200千円 ・サーモグラフィー 70台×500,000円＝35,000千円 計 41,000千円 ④市庁舎等公共施設等	地域安全防災室	R3.4	R4.3	25,619,864	25,619,000	-	25,619,000	-	-	864	-	-	予防関係消耗品：415,602円 避難所運営関係草葬品：398,200円 抗体検査用キット：330,000円 窓口用バーテーション：303,820円 防護服（50セット）：231,000円 VEB会議用品：106,150円 教育関係消耗品：153,192円 ポータブル蓄電池（9台）：4,059,000円 サーモグラフィー（60台）：19,622,900円	感染予防対策として、必要な消耗品・備品等を整備したことで感染拡大防止に繋がった。	
2	単	-	農林業者一時支援金給付事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、令和3年1月から2月にかけて長崎県下全域に特別警戒警報が発令されたことに伴い、事業活動に大きな影響を受けた市内農林事業者に対し、支援を行うことで事業の継続を図る。 ②支給額 ・令和3年1月または2月の売上高が年同月比20％～50％未満の者：10万円 ・50％以上の者：20万円 ③一時支援金 71事業者×200,000円＝14,200,000円（売上高50％以上減少） 2事業者×100,000円＝200,000円（売上高20％以上50％未満減少） 事務費（職員手当、消耗品費、通信運搬費、手数料等） 1式×284,000円 ④市内に本社を置く法人または市内に居住する個人で令和3年1月または2月の売上高が前年同月に比して20％以上減少している者 ※その他（F欄）7,384千円は、県負担金	農林しいたけ課	R3.4	R3.12	4,300,000	4,300,000	-	2,600,000	-	1,700,000	-	-	-	申請件数：26件 補助金：4,300,000円	対前年比が20％以上減少した農林業者にに対し、一時支援金を給付し事業の継続に繋げることができた。	
3	単	-	水産業者一時支援金給付事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、令和3年1月から2月にかけて長崎県下全域に特別警戒警報が発令されたことに伴い、事業活動に大きな影響を受けた市内水産事業者に対し、支援を行うことで事業の継続を図る。 ②支給額 ・令和3年1月または2月の売上高が年同月比20％～50％未満の者：10万円 ・50％以上の者：20万円 ③一時支援金 425事業者×200,000円＝85,000,000円（売上高50％以上減少） 208事業者×100,000円＝20,800,000円（売上高20％以上50％未満減少） 事務業務委託料 633件×2,000円×1.1＝1,392,600円≒1,393,000円 事務費（消耗品費）1式×141,000円 ④市内に本社を置く法人または市内に居住する個人で令和3年1月または2月の売上高が前年同月に比して20％以上減少している者 ※その他（F欄）43,576千円は、県負担金	水産課	R3.4	R3.12	99,195,000	99,195,000	-	57,396,000	-	41,799,000	-	-	-	申請件数：570件 補助金：97,800,000円 事務委託料：1,254,000円 消耗品費：141,000円	対前年比が20％以上減少した水産業者にに対し、一時支援金を給付し事業の継続に繋げることができた。	
4	単	53	商工業者一時支援金給付事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、令和3年1月から2月にかけて長崎県下全域に特別警戒警報が発令されたことに伴い、事業活動に大きな影響を受けた市内商工業事業者に対し、支援を行うことで事業の継続を図る。 ②支給額 ・令和3年1月または2月の売上高が年同月比20％～50％未満の者：10万円 ・50％以上の者：20万円 ・市内で宿泊業を営む事業者：1室あたり3万円 （上限：1施設300万円） ・市内で運行するレンタカー、タクシー、貸切バス業を営む事業者：1台当たり2万円 ③一時支援金（小計 78,550,000円） 20万円×103社（売上50％以上減）＋10万円×201社（売上20～50％減）＝50,500,000円 宿泊事業者追加分 20,930,000円 交通事業者追加分 7,120,000円 ・事務費（小計1,002,380円） 時間外手当 680,000円 消耗品費 174,400円 通信運搬費、手数料 112,480円 コピー使用料 55,500円 合計 79,552,380円 ④市内に本社を置く法人または市内に居住する個人で令和3年1月または2月の売上高が前年同月に比して20％以上減少している者 ※その他（F欄）21,105千円は、県負担金	観光商工課	R3.4	R3.12	44,742,731	-	35,437,000	-	9,305,187	544	-	-	申請件数：90件 補助金：44,190,000円 事務費：552,731円	対前年比が20％以上減少した商工業者にに対し、一時支援金を給付し事業の継続に繋げることができた。		
5	単	-	雇用維持アドバイザー事業	①新型コロナウイルス感染拡大の影響から、雇用調整助成金や新型コロナウイルス感染症対応休業支援金、給付金等を活用される事業所等に申請手続きの助言等を行うアドバイザーを派遣することで、事業者の事業継続を支援する。 ②雇用維持アドバイザー事業委託料：3,268千円 ③1件当たり15,000円×月30件×6か月＝2,700,000円 商工会手数料等 568,000円 ④市内に所在する事業所等	観光商工課	R3.4	R4.3	3,085,500	3,085,500	-	3,085,500	-	-	-	-	-	アドバイザー派遣件数：170件 アドバイザー事業委託料：3,085,500円	本事業を実施し、コロナ禍における様々な給付金等の事務手続きの助言により事業継続に繋がった。	

No.	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	所管課	事業 始期	事業 終期	A						成果目標	成果目標の達成状況	事業実施状況	効果検証 事業の成果、効果	
								総事業費 （決算額）	B									補助対象外経費
									補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他					
6	補	-	特定有人国境離島地域社会維持推進交付金	①新型コロナウイルス感染症の影響により激減した観光客に対し、体験メニューを組み込んだ旅行商品等の販売促進や宿泊、交通等経費の割引により滞在型観光及び島内消費喚起を促進する。 ②旅行会社が販売する旅行商品の販売促進及び域内消費喚起の支援として、旅行商品の割引及び地域内の宿泊、飲食施設等で利用できるクーポン券を発行する。 ③見込み人数13,092人×5,000円＝65,460,000円 事務手数料5,773,000円 事業費71,233千円－39,178千円（国費）－16,028千円（県費） 市負担金額合計 16,027千円 ④旅行者及び旅行業者 ※交付金事業名：しま旅滞在促進事業	観光商工課	R3.7	R4.3	52,584,575	52,584,046	-	11,831,000	-	40,753,046	529	-	しま旅負担金：52,584,575円	長崎県と共同し、旅行商品の販売及び地域内の消費喚起支援としてクーポンを発行したことで、宿泊施設、飲食店等並びに旅行者への消費の促進に繋がった。	
7	単	106	新生児特別定額給付金事業	①新型コロナウイルス感染症の影響に対する生活支援策として、令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれた子に対し、一人あたり10万円を給付し、子育て世帯を支援する。 ②給付金 ③100,000円/人×10人（見込み）＝1,000,000円 事務費（郵送料、振込手数料等）1,940円 合計 1,001,940千円 ④令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生した新生児のうち、令和3年4月1日以降に申請書の提出があった者	こども未来課	R3.4	R3.5	901,746	901,000	-	901,000	-	-	746	-	申請件数：9件 給付金：900,000円	コロナ禍において、新生児に対し生活支援策として給付金を支給したことで、子育て世帯の支援に繋がった。	
8	単	-	学校リモート研修システム構築事業	①コロナウイルス感染症対策の影響により、教職員への講師を招いての研修や、最外出張による研修がリモート研修に替わる状況が多くなっていることから、この状況に対応するため、各小・中学校にリモート研修用端末を導入し、教師のスキルアップを図るとともに、児童・生徒の学習や教育の充実を図る。 ②リモート研修用端末：31台 （小学校：18台、中学校：12台、教育委員会：1台） ③研修用端末31台 ・128,000円×31台＝4,365千円 ・スピーカー・マイク（31台）：512千円 ・ヘッドセット（31台）：137千円 ・HDMIケーブル（31台）：171千円 ・無線LANルーター（31台）：273千円 ・その他ケーブル、端末調整、校内LAN設定等経費 ：1,687千円 合計：7,145千円 ④市内小中学校及び教育委員会	学校教育課	R3.7	R3.9	6,964,100	6,964,000	6,964,000	-	-	100	-	リモート研修システムPC：31台 金額：6,964,100円	各小中学校にリモート研修用端末を整備し、教師のスキルアップに繋がった。		
9	単	-	成人式延期に伴う特別給付金事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大により令和3年1月3日に開催を予定していた対馬市成人式を令和2年12月22日に急遽、延期決定をし、コロナ感染症の状況を見ながら令和3年5月2日に実施することとしたが、日程変更により参加できない新成人に対し、貸衣裳のキャンセル料等の支援を行い、成人式延期による負担軽減を図る。 ②新成人への特別給付金：3,570,000円 郵便料等事務費：76,000円 ③新成人1万円（定額）×22人＝220,000円 最大5万円（キャンセル料補償）×67人＝3,350,000円 申請書郵送料、振込手数料等事務費一式：76,000円 合計3,646千円 ④新成人	生涯学習課	R3.4	R3.7	182,273	182,000	182,000	-	-	273	-	申請件数：6件 給付金：140,000円	コロナ感染症の影響で延期になった対馬市成人式において、参加予定の新成人に対し、貸衣裳等に係るキャンセル料の支援により新成人の負担軽減に繋がった。		
10	単	36	消防隊員感染防止対策強化事業	①救急現場、火災救助現場はもとより訓練や点検時の隊員間の感染防止対策のため空気呼吸器用面体（全面マスク）を導入する。患者接触時におけるエアロゾルが発生しやすい救急現場や心肺蘇生時の処置に伴う感染リスクを踏まえ、バックバルブマスク使用時のHEPAフィルター及び自動式マッサージ機の積極的活用を図る。また、感染防護衣においても、ウイルスバリア性能を有する仕様タイプを活用することで、より一層の救急隊員の感染リスク軽減を図る。 ②消耗品及び備品購入費 ③全面マスク 38,170円×100個＝3,817,000円 心臓マッサージシステム（バージョン3.1）：3,171,025円×8台＝25,368,200円 人口鼻フィルター：20,625円（25個入）×4個＝82,500円 エアリータ装置交換用フィルター：88,000円×6セット＝528,000円 デイスボストレッチャーシート：19,800円（10枚入）×40＝792,000円 ・感染防止衣（リユースタイプ）上下セット：42,900円×200着＝8,580,000円 タイベックス感染防護衣：3,553円×100着＝355,300円 ・電気毛布：6,160円×20枚＝123,200円 ・救急ヘルメット：31,900円×100個＝3,190,000円 ・感染防止雨衣：40,150円×100着＝4,015,000円 ・フェイスシールド：264円×300枚＝79,200円 ・トランジットアイレーションフード（両面テープ付） 40,700円（2個入）×50＝2,035,000円 合計：48,966千円 ④対馬市消防署	消防本部	R3.7	R4.3	45,435,170	45,435,000	-	45,435,000	-	-	170	-	消耗品費：21,663,290円 全面マスク、人工鼻フィルター、感染防止衣、防護衣、救急ヘルメット、デイスボストレッチャーシート、フェイスシールド、トランジェットアイソレーションフード 備品購入費：23,771,880円 自動心臓マッサージシステム	消防業務における感染防止対策強化のため、必要な備品及び消耗品を整備したことで、救急現場、火災現場での感染症対策に繋がった。	
11	単	36	消防庁舎感染予防対策事業	①消防庁舎内における職員間の新型コロナウイルス感染症拡大防止及び来客者等からの感染リスクの軽減を図るため、庁舎入り口等にサーモカメラを設置し、手洗い及び炊事場の水栓を自動水栓に交換する。 ②消耗品及び備品購入費 ③キッチン用タッチレス水栓 44,000円×12個×消費税＝580,800円 台付自動水栓（単水栓） 42,500円×23個×消費税＝1,075,250円 サーモカメラ：453,200円×2台＝906,400円 合計：2,563千円 ④対馬市消防署	消防本部	R3.7	R4.3	2,144,560	2,144,000	-	2,144,000	-	-	560	-	需用費：1,355,310円 消防庁舎自動水栓交換修繕費 備品購入費：789,250円 サーモカメラ	消防庁舎における感染症対策のため、サーモカメラの設置及びタッチレス水栓の設置により感染予防をしたことで感染リスクの軽減に繋がった。	

No.	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	所管課	事業 始期	事業 終期	A 総事業費 （決算額）	B					G 補助対象外経費	成果目標	成果目標の達成状況	事業実施状況	効果検証 事業の成果、効果	
									補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他						
12	単	-	対馬市高等学校 校魅力化支援 事業	①コロナ禍により、例年実施している島外での勉強合宿ができない市内高校生に対し、感染リスクを軽減するため、島内での合宿を実施することで、学生の学習体制を維持するとともに島内の宿泊施設、貸切バス事業者の支援にもつながる。 ②具体的には、市内に所在する高等学校が市内の宿泊施設等を利用して学習合宿等を実施する際の宿泊費とバスの借上料を支援する。 ②宿泊費及び車借上料 ③2,000円/6泊×70名＝840,000円 77,000円×1台（大型） 55,000円×1台（小型）＝132,000円×1/2＝66,000円 合計 906千円 ④島内高等学校	総務課	R3.7	R3.9	726,000	726,000	-	726,000	-	-	-	-	申請件数:1件 補助金:726,000円	島外での勉強合宿を島内宿泊施設での合宿に変更したことで、感染リスク軽減と島内宿泊施設、貸切バス事業者の支援に繋がった。		
13	単	-	社会教育における新型コロナウイルス感染症対策備品購入事業	①公民館講座、社会体育及び芸術文化活動等の社会教育において、参加者の新型コロナウイルス感染症予防強化のため、必要な消耗品、備品を核施設に配置することで、市民等が安心・安全に参加できる環境とする。 ②消耗品及び備品購入費 ③次亜塩素酸 空間除菌脱臭機 74,077円×13台×1.1＝1,059,300円 演出用飛沫防止パーテーション 14,900円×6台×1.1＝98,340円 サーモグラフィカメラ 450,909円×13台×1.1＝6,447,999円 抗原検査キット（鼻腔ぬぐい液用） 900円×600個×1.1＝594,000円 その他適宜費等事務費:200,361円 合計:8,400千円 ④各公民館及び体育施設等	生涯学習課	R3.7	R4.2	8,329,640	8,329,000	-	8,329,000	-	-	640	-	-	抗原検査キット:594,000円 検査キット送料:130,000円 パーテーション:98,340円 サーモグラフィカメラ:6,448,000円 次亜塩素酸空間除菌脱臭機:1,059,300円	社会教育施設において実施する活動の際に参加者の感染予防のため、必要な備品を整備したことで、安心安全の環境を図ることができた。	
14	単	54	地元産品消費 拡大イベント 開催事業	①農林水産物は、新型コロナウイルス感染症の影響により取引店舗の休業等による需要が落ち込みで島外出荷が伸び悩んでいる。そこで、第一次産業の再興のために、地産地消の拡大及び対馬産の需要度を高める必要があり、新鮮な水産物、旬な農産物が本より安く豊富に食べることができる島の魅力を島内外に広めるため、「地元産品消費拡大イベント」を開催することで、島内の消費喚起及び対馬産の素晴らしさを島民への再認識を図る。このイベントを機に島の「売り」である新鮮な水産物や旬な農産物を求める来島者の誘客に結びつけ、また対馬の旬の食材を提供できる島内店舗の協力体制及び島内流通の確立に繋げる。 ②補助金（地元産品購入経費、消耗品費、使用料、手数料等） ③実行委員会経費内訳 ○報償費:1,200千円 ○旅費:560千円（イベントPR旅費等） ○消耗品費:15,216千円（農林水産物食材等） ○印刷製本費:2,352千円（チラシ、ポスター、スタンプカード等） ○役務費:272千円（振込手数料、郵便料） ○使用料:400千円（施設使用料及びリース料） 合計:20,000千円 ④地元産品消費拡大イベント実行委員会	農林しいたけ課	R3.7	R4.3	19,000,003	19,000,000	-	19,000,000	-	-	-	3	-	-	イベント補助金:19,000,000円	コロナ禍において、影響を受けている第1次産業の再興のため、地元産品のPR及び地域の活性化に寄与することができた。
15	単	69	対馬博物館普及 啓発事業	①コロナ後の国内外観光客の増加及びコロナ禍の中、島外渡航を自粛している島民の域内交流増加による地域活性化を目指し、令和4年度に閉館予定の対馬博物館の知名度向上と関心を集めるための取り組みとして、博物館や対馬全島をフィールドとしたワークショップなど、島内外の親子を対象とした教育普及活動を実施する。また、著名な講師とコラボすることで、新たなファン層の獲得につなげるとともに、コロナ後の交流人口の回復を目指します。 ②報償費、費用弁償、委託料、使用料 等 ③講師謝礼、講演会講師謝礼 27千円×1名＝27千円 41千円×1名＝41千円 ワークショップ講師謝礼 27千円×1名＝27千円 ワケガツワ講師謝礼 27千円×1名＝27千円 ●費用弁償、講師旅費（東京）101千円×1名＝101千円 講師旅費（岡山）105千円×1名＝105千円 講師旅費（市内）1千円×1名＝1千円 ●消耗品費・ワークショップ・講演会用品代:ワークショップ 50千円・講演会10千円 ●印刷製本費:チラシ印刷代:8.3円×15,000枚×5回×1.1＝685千円 ●通信運搬費:物品等郵送料 70千円 ●手 数 料:チラシ折込料:2円×13,800世帯×5回×1.1＝152千円 ●傷害保険料:65千円 ●委託料:プロモーションイベント委託料 1,807千円 ●車借上料:バス借上料 62千円 ④市公共施設 等	博物館学芸課	R3.4	R4.2	908,920	908,000	-	908,000	-	-	-	920	-	-	講師謝礼:27,000円 消耗品費:13,008円 印刷製本費:349,800円 手数料:73,612円 委託料:445,500円	コロナ禍に閉館した対馬博物館において、知名度向上を図るため、普及活動を実施したことでアフターコロナ後の来館に繋がるPRができた。

No.	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	所管課	事業 始期	事業 終期	A 総事業費 （決算額）	B 補助対象事業 費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他	G 補助対象外経 費	成果目標	成果目標の達成状況	事業実施状況	効果検証 事業の成果、効果
16	単	43	観光業新型コロナ対策協力金事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により減少した観光客及びビジネス客に対し、「新しい生活様式」に対応した「業種別ガイドライン」を遵守し、安心・安全なサービスを提供しながら誘客を促す事業者へ協力金を給付する。 ②観光事業者に対する協力金の支給 ③・ 宿泊業 101件 22,800千円 （部屋数×2万円、ただし上限200万円まで） （農林漁業体験民宿事業者は一律1万5千円） ・ 交通事業者 507台（26件） 7,605千円 （台数×1万5千円（乗員定数関係なく一律単価）） ・ 飲食事業者 154件 7,700千円 （店舗数×5万円） ・ 土産品小売・体験事業者 21件 1,050千円 （土産品小売は店舗数×5万円） （体験事業者は事業者数×5万円） ○上記による協力金:39,155千円 ○振込手数料:31千円 ○事務委託料:814千円 計40,000千円 ④観光事業者	観光商工課	R3.7	R4.1	40,495,940	40,495,000		40,495,000	-		940	-	申請件数:299件 協力金:39,650,000円	新しい生活様式に対応した業種別ガイドラインの遵守し安心安全なサービスを提供する観光事業者に対し、協力金を給付し事業の継続に繋げることができた。	
17	単	-	成人式中止に伴う特別給付金支給事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大により、対馬市成人式を中止したことから、貸衣装のキャンセル料等の支援を行い、新成人の経済的な負担軽減を図る。 ②新成人への特別給付金:8,650,000円 郵便料等事務費:240,000円 ③新成人1万円（定額）×220人＝2,200,000円 最大5万円（キャンセル料補償）×129人＝6,450,000円 申請書郵送料、振込手数料等事務費一式:240,000円 合計8,890千円 ④新成人	生涯学習課	R3.7	R4.2	3,040,914	3,040,000	-	3,040,000	-	-	914	-	申請件数:165件 給付金:2,850,703円	コロナ感染症の拡大で中止になった対馬市成人式において、参加予定の新成人に対し、貸衣装等に係るキャンセル料の支援により新成人の負担軽減に繋がった。	
18	補	38	学校保健特別対策事業費補助金	（感染症対策等の学校教育活動継続支援事業） ①新型コロナウイルスの収束が見えない中、教育活動継続に際し、密閉・密集・密接を回避し、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要な物品の購入等により、学校における安心・安全のための支援を行います。 また、教職員へオンライン学習等に資するICT研修に必要な物品の購入等により円滑な教育活動を支援します。 ②消毒液、ICT用備品等 ③小学校分 消耗品、備品購入費（18校分）14,800,000円 中学校分 消耗品、備品購入費（12校分）9,600,000円 計:24,400,000円 ④市内小中学校	学校教育課	R3.7	R4.3	23,023,085	22,811,000	11,405,000	11,406,000	-	-	212,085	-	小学校:18校、中学校12校 消耗品費:17,030,355円 備品購入費:5,992,730円	コロナ禍において、備品及び消耗品を整備したことで、小中学校における感染防止対策に繋がった。	
19	単	—	新型コロナウイルス感染症予防対策事業（情報発信拠点施設分）	①九州のヒト・モノ・コト・情報が集まる福岡市において、本市の認知度向上を目指し令和2年4月に移転リニューアルオープンした「よりあい処つしま」の感染防止対策として、店舗1階出入口2箇所にサーモグラフィーを設置することで、安心して飲食や買い物を楽しんでもらうことを目的とする。 ②備品購入費 ③顔認証サーモグラフィカメラ 850千円×5台×1.1＝4,675千円 ④よりあい処つしま、ふれあい処つしま ⑤事業完了による変更	観光商工課	R3.7	R3.10	1,518,000	1,518,000	-	1,518,000	-	-	-	-	AI顔認証サーモグラフィカメラ:1,518,000円	情報発信拠点施設にサーモグラフィーを設置したことで、感染棒対策に繋がった。	
20	単	43	飲食店認証制度認証協力金事業	①「ながさきコロナ対策飲食店認証制度」の認証済みまたは申請済みの飲食店事業者に対し、協力金として一律10万円を支給する。また市内飲食業の認証制度の普及をもつて、新型コロナ対策を推進することで、消費者へ安全安心をもたらす、飲食店利用の回復を図る。 ②飲食店事業者等に対する協力金 ③報償費:26,000千円＝260事業者×100千円 事務費:1,000千円【通信運搬費、印刷費、振込手数料】 計:27,000,000円 ④市内飲食及び宿泊事業者	観光商工課	R3.9	R4.3	9,006,600	9,006,000	-	9,006,000	-	-	600	-	申請協力金:4件、認証済協力金:58件 協力金:9,000,000円	ながさきコロナ対策飲食店認証制度の認証を受けた事業者に対し、協力金を給付し事業の継続に繋げることができた。	
21	単	—	電子クーポン「対馬藩札」発行事業	①対馬への観光を促すために電子クーポン「対馬藩札」の追加発行を行い、観光客の増加と市内飲食業の利用の増加を促す。また非接触型の電子クーポンの利用を促すことで、新型コロナウイルス対策を探りながら、市内事業者のキャッシュレス決済の普及を促し、ポストコロナ下における消費拡大の礎を作り出す。 ②委託料 53,000千円 10,000人泊分の電子クーポンの発行及びそれに係る事務手数料 ③電子クーポン 50,000千円＝5,000円×50施設×200人泊（計10,000人泊） 事務費 3,000千円 （決済手数料 1,000千円、加盟店手数料 900千円、振込手数料 1,100千円） 合計:53,000,000円 ④観光客及び対馬市民	観光商工課	R3.9	R4.3	46,591,303	46,591,000	-	46,591,000	-	-	303	-	電子クーポン「対馬藩札」事業委託料 46,591,303円	電子クーポン「対馬藩札」を発行したことで、市内のキャッシュレス決済の普及、観光客及び市内飲食店の利用の増に繋がった。	

[illegible]